



2019～2022 年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー

大島 浩輔

2019～2020 年度
国際ロータリー会長

2019～2020 年度
第 2670 地区ガバナー

小松島ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日[12:30～13:30]

例会場 菊寿殿 おがわ 小松島市小松島町字外開 7-1

TEL:0885-32-0205

事務局 小松島市金磯町 10-19 TEL:0885-33-1211

2020 年 5 月 15 日 第 3349 回 例会記録

会員総数	24 名
出席会員	19 名
本日出席率	79.2 %
前回出席率	75.0 %

会長報告 (木村 幹男) ・久しぶりの例会(35日ぶり)です。この間、世の中が変わったように思います。
4/16 緊急事態宣言が全国に拡大され、それが昨日 39 県は解除されました。
・各首長がリーダーとなって対応される所、小松島市長が退任されました。
・中山会員が立候補されたので、後程お話を伺いたいと思います。

幹事報告 (芝 敏廣) ・脇町 RC は 21 日より例会を再開されるそうです。
・財団ニュースが届いています。(回覧)

委員会報告 ・中山会員: 県議の 3 期目ですが、3 年を残して市長選に立候補します。
市長、副市長が不在で、この時期にリーダーシップをもって対処できる方が居ません。夢のある小松島を目指しております。私たちが住む小松島を、誰もが誇れる市に変えていきましょう。孫田さんとの一騎打ちになりそうですが、従来通りの遣り方で頑張ります。この街に何かをと思ひ、マリンパレット、ラーメン・・・を手掛けています。中山建設の事を心配されている(3 親等までの親族は公共工事禁止)方もいらっしゃるようですが、弟は気持ちよく出馬に同意してくれました。また、宮城寛(元副市長・元県議)氏が後援会長の予定でしたが身体の調子が優れず、急遽加藤会員に会長代行をお願いし快くお引き受けいただきました。
・木村会長: ペットボトルで“フェイスシールド”を製作したのが、5/6 の四国 TV “フォーカス徳島”で紹介されました。

卓話 松下会員“趣味のスキー”



◎卓話の準備をしてそのまま5週休会となりました。先日は母親を連れて眼科医院に訪れ、マスクをしていなかったところ、手製のマスク(キッチンペーパーを半分(三角)に折り、輪ゴムを付けたもの)をいただきました。また、隣のファミマの灰皿がコロナ感染予防のため無くなりました。4/29 に誘われて飲みに行ったところ、鷹匠町辺りに人がおらず、タクシーもいませんでした。本業の不動産業では、家賃困難な客に家賃を割引したり、また隣の贈答品屋は廃業しました。



また、レースのため和歌山にヨットを置いていたのを中止になったため取りに行ったのですが、県外に出るのが大変そうでフェリー乗船を諦め、友人の船に乗せてもらってとんぼ返りで持ち帰りました。◎前置きが長くなりましたが、趣味のスキーの話です。スキーを始めたのは6～7年前です。道具はオールインワンのケース(板・ブーツ・シャフト・ヘルメット等)を提げて持っていきます。板は昔と違いカービングスキー(板の先端「トップ」と末端「テール」の幅が広く、中央部「ウエスト」が細くなっている。→ウエスト部分があることで板自体がターンしやすくなり、スピードを落とさずに滑ることが可能。板全体が接地しやすくなったため操作性が増し、エッジを立てようと意識するだけで自然と力が板に伝わり、カーブを描いてくれるのでとても滑りやすい。板の長さ150～160cm程度・・・とのこと)。ちなみに昔の板はストレートスキーと呼ばれています。

◎始めた当初は近場の鳥取県大山や岐阜県でしたが、初めて北海道に行ったときに雪の質(パウダースノー)に魅せられ、それからはLCCに乗って北海道ばかりです。昨シーズンは息子の選挙もあり1回のみ、今年は暖冬で1月にニセコに行きましたが、その頃はまだコロナ前で中国人だらけでした。ニセコ近辺は外国人で混雑していて、それを避けるために、夕張のマウンレースイスキー場(千歳空港から近く人が少ない)がおすすめ。とても空いているのが魅力です。もう1回行こうとしたのですが、人が来なくて閉鎖されていたため断念しました。

◎“北海道のスキー場について”

ニセコ:一つの山に四つのスキー場(比羅夫、アンヌプリ、花園、ビレッジ)がある。倶知安:ニセコ
の中心地で、コンドミニアム等に外国人が多く、トラブルも多い。

留寿都:IR・カジノの候補地で、大きなリゾートホテルがある。

※当日、スキー道具一式を持参して紹介、お披露目されました。

ニコニコ箱 木村会長 ほか

理事会報告 ・新年度の予定:ガバナー公式来訪:8/24、ガバナー補佐公式来訪:8/7

「バンクシー」新作が英病院に 医療従事者をヒーローとして称える



覆面アーティスト「バンクシー」の新たな作品がイギリスの病院に登場しました。
医療従事者を新型コロナウイルスと闘う「ヒーロー」としてたたえています。